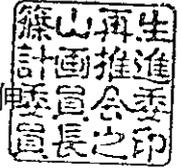


平成30年11月28日

篠山市長 酒井 隆明 様

篠山再生計画推進委員会

委員長 井本 季伸



篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等にかかる意見・提案について

篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等について、平成30年10月17日に篠山再生計画推進委員会を開催し審議のうえ、取りまとめた意見・提案を別紙のとおり提出いたします。

**篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等について
の篠山再生計画推進委員会の意見・提案**

【平成30年度】

取組項目等	意見・提案
継続した財政健全化への取り組みと平成31年度の予算編成について	<p>篠山再生計画の着実な実行により、収支バランスが取れる時期は、昨年度同様平成31年度であり、財政健全化への歩みは確かであるが、実質公債費比率や将来負担比率は、全国の自治体の中でも依然として高く、継続して財政健全化に取り組むことを求める。</p> <p>平成31年度から次期行革の計画を検討するに当たっては、平成30年度決算や平成31年度の予算編成が重要であり、財政健全化を確実に進めていただきたい。</p>
将来に向けた公共施設等のあり方の検討について	<p>今回示された「公共施設長寿命化指針」や「公共施設点検マニュアル」に基づき、公共施設等の長寿命化に当たっては適正管理を行うとともに、公共施設等の集約化・複合化を図り、更新費用の抑制・平準化に努めていただきたい。</p>
行財政改革とまちづくりの進捗評価の仕組みづくりについて	<p>行財政改革を確実に進める一方で、日本遺産、ユネスコ創造都市、全国景観モデル都市など、これらを活かした魅力あるまちづくりにも力を入れることが重要である。事業の選択と集中を徹底し、行財政改革とまちづくり双方の進捗状況の評価を行う仕組みづくりが必要であると考えている。</p>